



令和2年度 第7号 令和2年10月15日

鶴星

阿久根市立鶴川内中学校

校訓

協 自 自
調 律 主

スクールコンセプト

一 校 一 風

ともに夢と希望を育む鶴川内中

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 第74回体育大会，教育実習の頃

校長 中山 武広

先月13日に実施した第74回体育大会は，短い練習期間に追い打ちをかけるように2つの台風が続げまに接近するなど，大変に条件の厳しい中でしたが，終わってみれば本当に素晴らしい体育大会となりました。競技にも応援にも37名の確かな成長が存分に発現され，特に，『鶴中ソーラン』の「声の迫力」「動作の切れ味」「全校生徒の一体感」には心が震えました。コロナ対応のためこの光景を地域の皆様方にご覧いただけなかったのは誠に残念でしたが，各位のご理解とご配慮に深く感謝申し上げます（別途記事ご参照）。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて，10月6日から16日までの10日間，本校では数年ぶりとなる教育実習が実施されました。実習生は，本校卒業生の大下本美玖さんです（別途記事ご参照）。

私事で恐縮ですが，私も大下本先生と同様に学生時代に教育実習を経験しました。もう37年も昔のことで，実を言えば，もともと私は教員志望ではありませんでした。高校のとき，経済的な事情で大学進学は難しい状況にありました。私は大学で法律の勉強がしたくて親に何度も頼みました。両親はずっと難色を示していましたが，しまいには「学校の先生になるんだったら大学に行ってい」と言ってくれ，1回だけチャンスをもらいました。大学には転学制度があると聞いていたので，入学してから法文学部に転学しようと考え，表向きは親に従って教育学部を受験し合格します。しかしながら，転学の条件があまりにも厳しかったのと，教育学部での学生生活が思いのほか楽しくなってきたため，教育学部在籍のまま学年が進み，教育実習のときを迎えたのです。

教師をめざす者にとって教育実習は大きな試金石です。実習にいくのが嫌で大学を中退する学生や，実習期間の途中でリタイアする学生もいます。私はどうだったかというところ，教育実習に行くのが嫌で嫌でたまりませんでした。しかし，行かなければ単位が取れず卒業もできないので，しかたなく教育実習に行きました。すると，実習期間を過ごす中，実習仲間が大勢いたこともあってか，生徒たちと話すのも授業をするのもそこそこ楽しく感じられ，不覚にも「学校の先生もいいかもしれない」と勘違いをしてしまったのです。

どの職業も同じだと思いますが，実際に学校の先生になってみると，現実には甘くはありませんでした。しかしながら，徐々にやりがいも感じられるようになり，今となれば，教育実習のときに勘違いをしてよかったと心から思っています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

先輩教師から「やりがいを感じたいなら，好きを仕事にするか，仕事を好きになるかのどちらかだ」と諭されたことがあります。私は，間違いなく後者でした。今，自分の教育実習の頃を思い出しつつ，母校に実習に来られた大下本先生との出会いをきっかけに在校生の中から学校の先生をめざす人が出てくれることを密かに願っています。

行事予定

月	日	曜	10月～11月前半の主な行事
10	18	日	部活動停止～21日
	21	水	中間テスト①
	22	木	中間テスト②
	26	月	生徒集会DAC冒険教室
	29	木	文化祭予行
11	1	日	文化祭
	2	月	振替休日
	3	火	文化の日
	4	水	バックアップ委員会
	5	木	防災訓練・3年実力テスト
	6	金	漢字検定
	10	火	エネギ-教育出前授業
	12	木	生徒会立会演説会
	18	水	SC来校
	19	木	部活動停止(～25)
	24	火	期末テスト(～26) 三者面談(3年)
	26	木	健康教室・保健委員会
	30	月	生徒会引継式

○ 10/26(月)「DAC冒険教室」
資料代として，200円必要となります。
参加される際にお持ちください。

本校卒業生の大下本未玖です。
英語の授業を通して生徒と大事
に過ごします。10日間の教育
実習をよろしく願います。



努力目標

学習の見直しをしよう

一事徹底

2時間以上の自宅学習時間を確保しよう

体育大会

9月13日(日)
晴天の中、第74回体育大会



素晴らしい秋空の下、「笑・和・輪～One Team～」をスローガンに、規模を縮小して行われました。6月頃から生徒主体による練習を行い、「鶴中ソーラン」等、見応えある種目で生徒たちは練習の成果を発揮し、応援団の演舞もこれまでの努力が実り、会場を沸かしてくれました。

また、地域の皆様から物心両面からのご支援を賜りました。誠にありがとうございました。

企業等訪問

9月24日(木)
今年度初の校外学習となりました



キャリア教育の一環として、平川動物園に訪問し、獣医師の桜井先生に講話をいただき、働くとは何か、必要な力は何かを学ぶことができました。また、動物園が初めての生徒も多く、笑顔があふれる一日となりました。

文化事業「狂言」

9月29日(火)
狂言の世界を堪能しました



大蔵流狂言師の大蔵教義さん、上田圭輔さんを講師に『柿山伏』の上演後、登場人物クイズや発声・構え・摺り足を体験しました。伝統文化の狂言をより深く理解し、普段と違う一面が引き出され、充実した時間となりました。

人権宣言

生徒集会にて全員で読み合わせました。
市内中学校で取り組んでいます

- 一 わたしたちは、学級の環境を整え、人の良いところを見つけ、協力し合います。【学校・学級生活】
- 一 わたしたちは、家族と「おはよう」「おやすみ」など、会話のきっかけになるようなあいさつをします。【家庭生活】
- 一 わたしたちは、地域の方へ笑顔であいさつし、地域行事に参加します。【地域での生活】
- 一 わたしたちは、自分自身を大切に、自分の言動に責任を持ちます。【私(自分)自身】
- 一 わたしたちは、相手のことを大切に、いじめや差別を絶対に許しません。【友達との関係】
- 一 わたしたちは、人の気持ちを考え、お互いの違いを認めます。【毎日の生活】

地区駅伝大会

結果 男子 9/15位 1時間21分59秒
女子14/15位 1時間 1分27秒

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

自由参観週間が令和2年11月1日(日)～6日(金)となります。玄関にある受付簿に記入いただき、学校の様子を是非、ご覧ください。
★文化祭の意味 感動を創ろう。

文化とは、『その人間集団の構成員に共通の価値観を繁栄した、物心両面にわたる活動の様式。それによって創り出されたもの。真善美を追求したり、獲得した知恵・知識を伝達したり、人の心に感動を与えたりする高度の精神活動。』と辞書には書かれている。

ただ出し物をするのではなく、ただやりたいことをやるのではなく、人間としてのこれまでの歴史やこれからの将来、創造性を高め、何より仲間とともに、協力し、感動を築きあげるものだ解釈してみよう。つまり、鶴川内中学校はどんな学校を目指し、どんな人間を目指しているかを発表する場ともいえます。

充実した合唱は、当たり前前かがり前かがりに自然とできていた時、合唱の力強さ、内面の輝きが変わります。全員の心を一つにして達成感ある雰囲気こそ価値ある時間になります。笑顔の先にある感動を生み出そう。さあ、残り少ない文化祭までの時間。当たり前前かがり前かがりに。